

2018. 9. 21

## 社会貢献活動「生物多様性保全と日尼友好 バンテン湾の森」づくりを開始

株式会社日本触媒（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：五嶋祐治朗）は、インドネシア共和国にて社会貢献活動「生物多様性保全と日尼友好バンテン湾の森」づくりを新たに開始し、開所式と第1回目の植林活動を行いました。



本活動は、2008年から取り組む「日本触媒の森」づくりの1つとして、エビ・カニなどの生息地確保、高波による海岸線浸食の防止を目的とし、インドネシアの海岸にマングローブの森をつくる活動です。現地 NGO の協力を得て5年間でヒルギ科の苗木3万本の植林を計画しています。

開所式には、来賓としてセラン市長、バンテン州環境局の職員の方々が出席され、今回の活動が地域の発展に寄与するものとして歓迎の意を表されました。

五嶋社長による記念植樹の後、当社の社員ボランティアと現地グループ会社の社員が共同で植林を開始し、さらに現地水産学校の学生も作業に加わり、友好的な雰囲気の中での活動となりました。

当社は CSR の一環として10年間継続して「日本触媒の森」づくりをおこなっています。今後も生物多様性・自然環境の保全、地域への貢献のために、当社グループをあげて更なる活動の充実をはかってまいります。

1. 「生物多様性保全と日尼友好バンテン湾の森」づくり について

- 場所 : インドネシア共和国バンテン州セラン市の海岸(首都ジャカルタから西へ約 70Km、  
水産学校 Sekolah Tinggi Perikanan (スコラ ティンギ プリカナン) の管理地)
- 主催 : 株式会社日本触媒および同社インドネシア子会社 PT.NIPPON SHOKUBAI  
INDONESIA (所在地: インドネシア共和国チレゴン市、以下「NSI」)
- 協力 : NGO 団体 Rekonvasi Bhumi (リコンバシ ブミ、「自然の再生」の意)

2. 第1回植林ツアーについて

実施日: 2018年9月10日(月) ~ 9月15日(土)

内容: 開所式、植林作業

参加者: 約60名

(ご来賓、日本触媒から社長・社員ボランティア、NSIから社長・役員・社員、  
NGO・水産学校学生ほか)

3. 「日本触媒の森」づくり 取組一覧

「生物多様性保全と日尼友好バンテン湾の森」づくり (インドネシア共和国 バンテン州)

「地球温暖化防止と日中友好の森」づくり (中華人民共和国 内モンゴル自治区)

「日本触媒・水源の森」づくり (兵庫県宍粟市)

「日本触媒・湯河原万葉の森」づくり (神奈川県湯河原町)

以上

---

【問い合わせ先】

株式会社日本触媒 経営企画室 IR・広報部

TEL:03-3506-7605 〒100-0011 東京都千代田区内幸町 1-2-2